

2021 年 4 月 15 日

2021 年度第 1 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2021 年度第 1 四半期決算を発表しました。

第 1 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は 81 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.86 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、0.2%増加して 228 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、マクロ経済見通しが改善し、残高が減少する中、27 億ドルの引当金の取崩しを反映して 66 億ドル減少し、19 億ドルの戻入となりました。
- 非金利費用は、COVID-19 に関連した費用純額の増加、インセンティブ報酬の変更による費用の増加、不動産合理化に伴う減損費用、収益関連費用の増加、従業員に対する退職金費用及び特別報酬の増加により、15%増加して 155 億ドルとなりました。
- 事業セグメントの貸出金及びリース金融残高は、商業貸出金の減少及びカード残高の減少を主因として、7%減少して 8,870 億ドルとなりました。
- 預金残高は、3,660 億ドル(25%)増加して 1.8 兆ドルとなりました。
- 普通株式等ティア 1(CET1)比率は、前年同期比で 102 ベーシス・ポイント上昇し、11.8%(標準的アプローチ)となりました。
- 平均グローバル流動性は、預金残高の大幅な増加を反映し、4,380 億ドル(78%)増加して 1.0 兆ドルとなり、過去最高を記録しました。
- 普通配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 50 億ドルの資本を還元しました。
- 平均普通株主持分利益率は、12.3%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、17.1%となりました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、4%増加して 29.07 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、6%増加して 20.90 ドルとなりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。